

令和6年度 塚沢幼稚園教育構想図

実態

家庭環境

- ① 家の外で遊ぶことが少ない傾向にある。
- ② 転勤等による市外県外からの転入者も多い。

地域環境

- ① 文教地区であり店舗・住宅が混在している。
- ② 地域は教育の関心が高く園に協力的である。

幼児の一側面

- ① 明るく素直で心優しく、挨拶がよくできる。
- ② 戸外遊びを主体的に楽しんでいる。
- ③ 様々な個性の友だちを受け入れられる。

園の課題

- ◎ 個の特性を生かした集団保育の実践
- 業務改善によるはたらき方改革

園内研修

テーマ

遊びのなかで体を動かす楽しさを味わう幼児の育成
～目標をもち挑戦するための環境の構成～

塚沢幼稚園 スローガン : にこにこ にっこり 元気な子

教育目標 「心豊かでたくましく、 思いやりのある塚沢っ子」の育成

<具体目標>

- つ**：創り出す子 …見て、聞いて、触れて、自分で考える子
- か**：感動する子 …色々なものを見たり、触れたりして心を動かす子
- さ**：最後まで頑張る子 …健康で粘り強く、自分のことを自分でする子
- わ**：分かち合える子 …相手の気持ちに気づき、思いやりをもって仲良く遊ぶ子

経営方針

- ① 子どもたちをありのままに受け入れる
- ② 子どもたちの思いや願いを大切にしたい教育を進める。
- ③ 子どもたちの感情体験を豊かにし、自己調整力を高める。
- ④ 全職員の和と信頼に基づく明るく温かい職場環境をつくる。
- ⑤ 幼小連携のあり方を学び、研究し、子どもたちの学びの基礎を培う。
- ⑥ 家庭・地域との情報交流により、開かれた園づくりを推進する。

PTAとの連携・協力

- PTA本部等と教職員が一体となった活動
- 保育参観・懇談会や教育相談による相互理解
- 家庭での読み聞かせの推進（ひまわり文庫の活用）
- 「早寝・早起き・朝ごはん+運動」の推進

地域・関連機関等との連携

- 学校評議員の活用
- 子育て支援：めばえ学級の充実
- 地域人材や施設等の積極的な活用
- 近隣小・中・幼稚園との交流や連携
- こども発達支援センター・通級指導教室・市教育センター等との連携
- 幼保小、幼小中高連携事業の充実

本年度の努力点

- ① 多様な動きの経験につながる環境構成を園内研修のテーマとして研究を継続するとともに、その実践を通して、運動遊びのさらなる質的向上を図る。
- ② 子どもたち一人一人の特性等の理解に基づく環境を構成することで、子どもたちの主体的活動を促しながら、認め、励ます支援を通して、粘り強さや挑戦する気持ちを育む。

学年・学級目標の達成

P D C A サイクルの活用・職員会議・学年主任会・園内研修等の充実を通して

年少組学年目標

教師との触れ合いを通して安定し、自分なりに遊びを楽しむ。

年中組学年目標

気の合う友達とのかかわりの中で、自分の思いを出したり、友達の思いに気づいたりして遊ぶ。

年長組学年目標

友達との遊びを進めていく中で、自分の力を発揮し、楽しい生活を創り出す。

第10回 塚沢地区芸能祭



塚沢地区芸能祭参加



子育て支援（めばえ学級）



創り出す子



感動する子



最後まで頑張る子



分かち合える子



ひまわり文庫の貸し出し



二次避難・引き渡し訓練



避難訓練（消防署と）

【 目標具現化のための特色ある園活動と行事 】 日々の戸外・室内の様々な遊びを通して活動の楽しさを味わわせ身体と心を育てる保育活動



お話の会



遠足



農業体験



小学校との交流



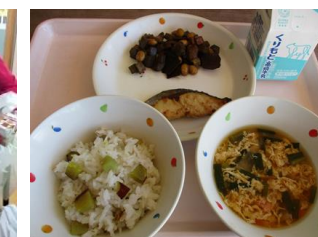
地域人材の活用



焼きいも大会



クリスマス会



おいしい自園給食



交通安全教室